

深川海さくら



「海さくら」は2005年に神奈川県江ノ島で、ビーチクリーン活動をするようになったことがきっかけで、深川を含め、日本全国・海外にも広まっているゴミ拾い活動です。

手ぶらで気軽に参加できる
深川住民によるゴミ拾い

日曜、午前10時の富岡八幡宮前、骨董市の開かれていた傍に46名もの人が集まった。それぞれトングやビニール袋を手渡され準備している。第26回深川海さくらの参加者たちだ。深川海さくらは、月一回深川地域の清掃活動を実施している。参加者は特に団体に所属しているわけではなく、事前申し込みなどもなく手ぶらで気軽に参加している。

目指すのは
日本一楽しく粋なゴミ拾い

「ゴミ拾いは、植林などと比べ、一番身近で取り組みやすい環境活動です」とは、深川海さくら代表の長谷川泰治さん。「以前より『前向きなイベントで街を活性化できたらいいな』と考えていました。ただのイベントではなく、ゴミ拾いでエコや山・川を考えたいと、『今週空いてるからゴミ拾いに行こう』くらいの気軽な気持ちで。昔はゴミ拾いと言ったら企業などの地域活動が主体

立ち上げ当初は長谷川さんの会社の社員ばかりで活動していたが、現在はすっかり地域の常連さんばかりだという。運営もレギュラーメンバーが手伝ってくれるようになった。「街の休憩所やベンチとかにゴミが落ちてるんです。憩いの場にたくさん落ちてるのは悲しい。とある公園ではバイクが停めてありました。バイクを公園内に入れなくなりました。ゴミも落ちなくなりました。ゴミ拾いをしていると、そういう今まで気づけなかったことを考えるようになるんですよ。」実際、ゴミ拾いに参加してみると、いままで見向きもなかったゴミが見え、そのゴミがどのように捨てられたのか考えるようになった。人がどうしてゴミ

でしたから。それが江ノ島で始まった海さくらは面白くやって人が集まり、全国に広がった形でしたので、我々も共感し、深川で始めました。」深川海さくらの清掃活動は1時間ほど行い、途中、カフェでお茶をしたり談笑する参加者も多い。また、ゴミ拾い後は楽しいイベントを用意している。夏にはかき氷を作り振る舞う。また、運河でハゼ釣りをしたり、地元の環境活動家と水質を調査している。そのような活動を通して運河の水質を意識し、水源である山や森の保全や、ゴミはどこで発生するのか、自然と考えるようになるのだそうだ。



▲深川海さくらの代表 長谷川 泰治さん

「ゴミ拾いをすると、見えないものが見えてくる」
深川海さくらは2016年に立ち上がり、3年目を迎えたばかりだ。

を捨てるのか、その視点から街を考へて行くのはとても面白かった。
深川の街を綺麗にして
人の集まる憩いの場を作る

参加者の中には子供も多い。しかし長谷川さんは、子供よりも大人にゴミを拾ってほしいという。「ゴミは大人が落とす。特にタバコが問題だ。それを大人が拾い、子供に見せることで学ばせてほしい。」深川は水の街、水辺には人が集まる。深川を綺麗にし、憩いの場を作ることではない。まちづくりができるのではないかと。まずは第一歩としてゴミ拾いから始めてみたい。

どすこいゴミ拾い in 富岡八幡宮



海さくらが恒例のイベントとして行っている「どすこいビーチクリーン」のイベントを、深川で実施して多くの人に楽しんで頂きたい。お相撲さんの力を借りて、海ごみが街からやってくることを知ってもらいたい。その思いで、富岡八幡宮さんにお声がけしご賛同を頂いて本イベントを企画しました。大塚部屋さんもその思いにご賛同され、特別協力させて頂くこととなりました。

日時 2018年8月26日(日) 午前10時~12時頃
場所 富岡八幡宮横綱力士碑前
主催 NPO法人深川海さくら
特別協力 大塚部屋 / 富岡八幡宮
協賛企業 あさひオーリーウ整骨院 / (株)伊藤園 / 大蔵工業 (株) / 広陽サービス (株) / (株)コトブキ / 三幸林産 (株) / 澁澤倉庫 (株) / スズキテクノス (株) / 田巻屋 / 東京ペニヤ (株) / 東京ボード工業 (株) / (株)長谷川萬治商店 / 深川フリモ / 山屋食品 (株) / (財)レスキューパートナー財団 ※50音順



江の島などで何度か参加させて貰っていますが、海さくらさんのゴミ拾い活動を深川でもどんどん広めていって欲しいと思っています。ゴミ拾いの後のどすこいイベントも是非楽しんでください。若い力士が沢山来ますので、子どもたちと一緒に遊びましょう。 大塚親方